沼田町立沼田学園だより　令和２年７月27日発行 No. 1

# ぬ　ま　た　っ　子

～『自立』『共生』『蛍雪』～

## 沼田学園長就任のご挨拶

学園長　米倉　卓司

沼田学園３年目となりました。学園の運営を円滑に引き継いでいくため、小・中学校の校長が交替で学園長を務めることとし、今年度は小学校の疋田校長先生より引き継いで、沼田町教育委員会より学園長を拝命致しました。よろしくお願い致します。

## 令和２年度の沼田学園の教育

さて、令和２年度の沼田学園は「沼田っ子でよかったと言ってもらえる教育」を継続しています。これは北海道教育が掲げる「ふるさと教育の充実」や、沼田町総合推進計画にある「子どもたちが誇りをもてるふるさとづくり」に連なるものです。なにより、卒業するときに「沼田っ子でよかった」と子どもたちに感じてほしいという願いは、沼田町の皆さんに共感いただけると考えています。

現代教育には、教師が授業で進めるだけでは解決しきれない課題が多くあります。その解決には家庭や地域との連携が不可欠です。

そこで、昨年度末に「沼田っ子アクションプラン」を関係する皆さんとともに作成し、教師・子ども・家庭・地域が同じ課題意識と目標を持ち、学びを深めていくこととしました。教育に必要なことはたくさんありますが、それぞれが取り組む重点内容をぐっと絞り、挨拶や対話、礼儀などに焦点化して、教師も、児童生徒も、保護者も、地域で応援いただく方も、同じ目線で取り組んでみようという考え方で作りました。

このうち、地域の取り組みの部分は学校運営協議会（コミュニティ・スクールを運営していく組織）の皆様に考えていただきました。あわせて、沼田学園の要覧も新しくなりました。

今後、家庭や地域の皆様にも、ご協力をお願いする部分があります。「沼田っ子アクションプラン」はすでに保護者の皆様には何度かお知らせしており、沼田町 HP でも検索すると閲覧することができます。新しい要覧にも「沼田っ子アクションプラン」を載せています。是非ご覧いただきご理解いただきますとともに一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 高く評価される「沼田学園」の教育 ～その1～

## 教職員研修

教員は、子供たちを育むことを職責とし、自己の教師力をＵＰさせるために絶えず研修に努めなければなりません。そのためいろいろな研修の機会があり、絶えず研鑽を積んでいます。学校においても、課題の解決や教員の教師力ＵＰを目指して、「校内研修」という形で計画的・組織的に取り組んでいます。

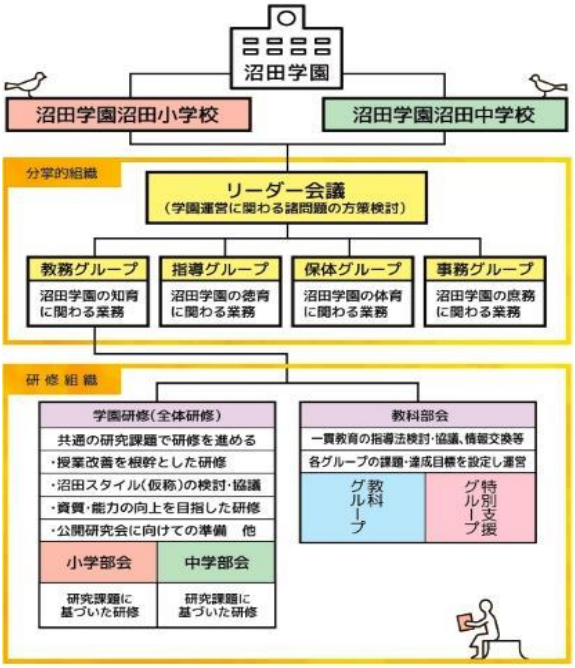
沼田学園では研究主題を『自ら進んで考え、学び合う児童・生徒の育成～「沼田スタイル」を活かした授業づくり～』と一本化し、小・中合同研修会を行っています。

主な取組として、授業においては主体的・対話的な活動の充実を図るため、沼田の子どもの実態に即した授業スタイルで授業を行っています。

具体的には、①学習活動に即した学習課題の設定や、②授業や単元の終わりに学習の振り返りを行うこと、③対話的活動を授業の中にどう取り入れて学習効果を上げていくか等を、毎日の授業を通して実践しています。この授業スタイルは、新学習指導要領の要である『主体的・対話的で深い学び』を体現したもので、研修を深めてより一層の授業改善を進め、９年間の連続した学びに支えられた「学力の確実な定着と向上」を目指します。

なお、今年度からは、学校教育におけるＩＣＴの効果的な活用（文科省ギガスクール構想）に向けたハード、ソフト面の整備を沼田町教育委員会指導のもと開始しました。また、新型コロナウイルス感染症に左右されない児童・生徒の学習保障の観点からオンライン授業等の準備、教職員研修を進めています。

※今後も「沼田学園」の教育を紹介していきます。



公開授業研究会の様子

教育振興会の様子

## 新型コロナウイルスへの対応について

小中一貫校「沼田学園」として、多くの皆様に、ご理解とご支援をいただきながら令和２年度の教育をスタートさせました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、４月中旬から５月末まで休校となりました。この間の合同運動会など、行事等は中止もしくは延期を致しました。未だ感染の危険性が拭えない状況から、児童生徒の安全を優先するためです。

６月１日より学校教育は再開されましたが、今後も感染防止対策を継続する必要があります。そのため、例年とは異なる学園運営となります。皆様のご理解とご協力をお願い致します。